

熱中症に注意しましょう

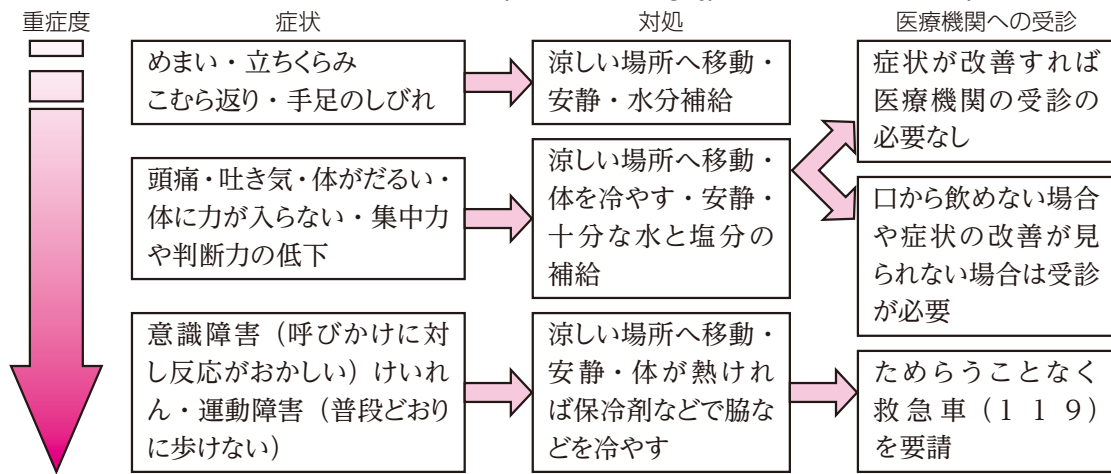


「熱中症」とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送や場合によっては死亡することもあります。

平成26年6月から9月までの間に全国の熱中症で運ばれた人は、40,048人。北海道では795人（全国で16番目）。その中の約50%が65歳以上の高齢者となっています。

比較的涼しい宗谷地方でも、6月から8月にかけて、急な気温や湿度の上昇に体の調整が追いつかず、熱中症になることがありますので注意が必要です。

熱中症の症状と対処（消防庁熱中症対策より引用 <http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2605/pdf/260514-1.pdf>）



気象台では、熱中症を防ぐために「宗谷地方高温注意情報」（宗谷地方において、当日の最高気温が31℃以上になると予想される場合に発表）の発表や「府県天気概況」で熱中症に対する注意喚起の呼びかけを行なっています。また「高温注意情報」の発表と合わせて気象庁ホームページで「主な地点の気温予想グラフ」など掲載し、熱中症への注意を呼びかけています。

気象庁「熱中症への注意」のホームページのアドレスは下記のとおりです。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

気象状況・天気予報の確認先 稚内地方気象台（電話:0162-23-2678）
 ※稚内地方気象台ホームページURL <http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>
 ※問い合わせ先 稚内地方気象台（電話:0162-23-2679）

五月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

耕さば豊かにならん心畑

富樫とも子

鋤入れし吾れの原点耕しぬ

横山 貞雄

春耕の揃いの機具や出番待つ

熊谷千恵子

ブルトーザー天地揺るがし耕しぬ

藤岡 芙美

春耕や俄に捨てるもの多く

佐藤 光朗

八十路過ぎ猫の額を耕しぬ

三浦 宮吉

春耕に取り残されし無人駅

田中 徹男